き　き　きのこ～♪

R8.11．27



この秋、『14 ひきのあきまつり』の絵本をきっかけに保育園はきのこで盛り上がっています。園庭に出ても散歩に行っても「みて！きのこ」「こんなところにもある」と見つけては教え合い、他にもないかな～と“きのこアンテナ”を張り巡らせています。先日の園外保育でも、熊野長峰で見つけたきのこの写真をキッズカメラで撮ってきてくれました。



そして秋と言えば【もりもりパワー】の食材にももちろんきのこ。給食にきのこが入るメニューがたくさんあるので、そんな日は下処理からきのこに触れています。「きのこの匂いする」「土の匂い？」と鼻を近づけ匂いを嗅いだり、「柔らかいね」「バラバラなっちゃった」としめじを裂くのもあっという間。五感が刺激されますね。自分たちで下処理したきのこが給食に入ってると「これ〇〇がやったの。おいしいでしょ」「しめじおいしいね」といつも以上に味わって、笑顔の食事の時間になっています。



きのこを見て、触れて、食べて・・・
遊びの中でも折り紙でたくさん作って楽しみました。そして今週はトイレットペーパーの芯や画用紙を使って立体のきのこも作っています。



種類も様々で、“あいたけ”“つちぐり”など『14 ひきのあきまつり』に出てきたきのこを作ってみたり、「これは毒きのこだよ」「食べたら茶色になるよ」などと想像のきのこを作るお友だちもいます。そして「食べられるきのこが作りたいよね。私はしいたけかな」と普段食べている、触れているきのこを作る年長児もいました。『きのこ』の歌を口ずさみながら作る姿もありますよ。

生活の中で経験したこと、その経験を通して感じたことをそれぞれの表現の仕方で楽しめるように、子どもたちの思いに共感したり受け止めながら私たちも一緒に楽しんでいきたいと思います。



